

令和 7 年度
東京都立埋蔵文化財調査センター
指定管理事業報告

公益財団法人東京都教育支援機構
東京都埋蔵文化財センター

◆ 収蔵品の管理

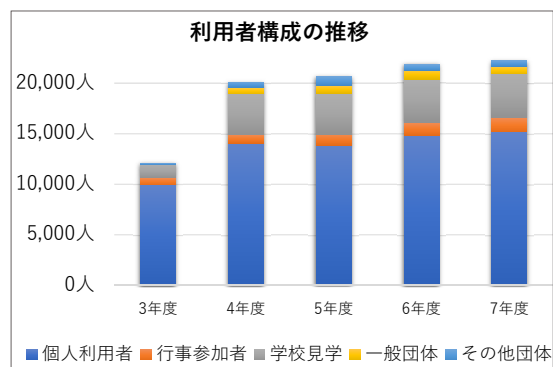
収蔵する多摩ニュータウン遺跡の遺物を独自のデータベースを用いて適切に管理
貸出などの際は、調査研究員が専門知識に基づき適切な解説やアドバイスを提供

貸出件数：出土資料 6 件、写真等 13 件、複製品 2 件

◆利用者 22,210名

開館日数：345日 利用者数22,210名

利用者区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比
個人利用者	9,965人	14,045人	13,818人	14,866人	15,193人	102.20%
行事参加者	688人	843人	1,141人	1,244人	1,393人	111.98%
学校見学	1,273人	4,057人	4,046人	4,300人	4,348人	101.12%
一般団体	71人	630人	787人	863人	708人	82.04%
その他団体	64人	511人	878人	570人	568人	99.65%
団体等計	2,096人	6,041人	6,852人	6,977人	7,017人	100.57%
合計	12,061人	20,086人	20,670人	21,843人	22,210人	101.68%



○ 東京都立埋蔵文化財調査センターが収蔵する遺物は、独自のデータベースを用いて適切に管理し、資料の貸出や、調査に来館された方には、調査研究員が専門知識に基づき、適切な説明や助言を行った。

○ 利用者数は、令和7年度は22,110名の方にご利用いただいた。なかでも個人利用者は15,193名で、コロナ以前の最高値15,202名に迫った。

◆ 常設展示

常設展示 「丘陵人の宝もの～遺跡からみた多摩丘陵の歴史」

多摩ニュータウン遺跡の遺物を活用し、丘陵の旧石器時代から江戸時代までの人々の暮らしをわかりやすく通史展示

展示期間：令和7年3月20日～令和8年3月8日

■ 学芸員ギャラリートーク「大昔の多摩を語る」

多摩ニュータウン遺跡の発掘に関わった調査研究員が展示解説を実施

第1回 9月20日（土） 第2回 10月18日（土） 第3回 11月22日（土）



各種展示について

- 常設展示は、多摩ニュータウン遺跡の遺物収蔵庫という施設の特徴を生かし、「おかびとの宝もの～遺跡からみた多摩丘陵の歴史～」と題して、通史展示を行っている。
- 多摩ニュータウン遺跡の調査に携わった調査研究員が解説する「学芸員ギャラリートーク」を3回実施した。

◆ 企画展示

企画展示 「土の中のトーキョー ～近代考古学事始～」

近年話題となっている「近代の埋蔵文化財」をテーマに、これまで東京都埋蔵文化財センターが数多く調査してきた近代遺跡の成果を基に「東京」の発展の歴史について展示

展示期間：令和7年3月20日～令和8年3月8日

■ 文化財講演会

- 第1回 10月25日（土） トーキョーの発展と鉄道
～考古学から近現代の扉をあけてみよう！～
講師：斉藤 進 氏（元 東京都埋蔵文化財センター職員）
- 第2回 11月29日（土） 明治東京の上水道と下水道
講師：金子 智 氏（東京都水道歴史館）
- 第3回 12月13日（土） ご飯茶碗クロニクル -器から見た近代-
講師：長佐古 真也（東京都埋蔵文化財センター職員）

■ 企画展示解説会

6回実施

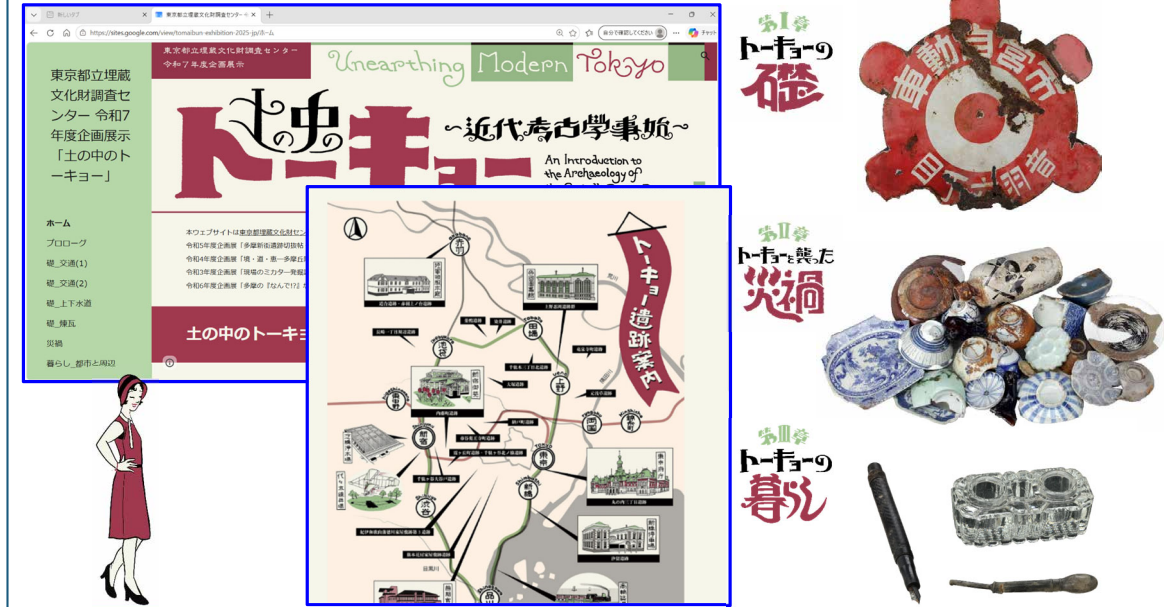


○ 企画展示は、近年話題の「近代の埋蔵文化財」をいち早く取り上げ、「つちの中のトーキョー～近代考古学事始～」と題して、東京都埋蔵文化財センターが数多く調査してきた近代遺跡の成果を基に東京発展の歴史を展示した。また、企画展示関連の文化財講演会を3回、解説会を6回実施した。

◆ 企画展示（特設ウェブサイト）

企画展示 「土の中のトーキョー ～近代考古学事始～」 特設ウェブサイト

■ ウェブ上で展示・解説



○ 企画展示は職員が作成した特設ウェブサイトでも公開しているため、来館できない方にも展示を見ていただくことが可能である。

◆ 通路展示ほか

通路展示 都心部の遺跡

多摩ニュータウン遺跡以外の特色ある遺跡（江戸遺跡等）の出土品を展示

■ 尾張藩上屋敷跡遺跡（新宿区市谷）

- ・尾張藩上屋敷の暮らし
- ・江戸の陶磁器の移り変わり



■ 汐留遺跡（港区汐留）

- ・打ち割られた仙台藩の宴席用食器
- ・新橋駅のにぎわい
- ・百万都市を支えた上水道



特別展示 文化財ウィーク2025特別公開

東京文化財ウィーク2025に合わせて、東京都指定史跡：多摩ニュータウンNo.57遺跡の概要と調査成果、出土品を公開

展示期間：令和7年10月28日～11月24日



■ 特別展示解説会

- 第1回 10月31日（金）
- 第2回 11月3日（月）



- 通路展示では都心部の遺跡として、江戸時代を彩る尾張藩上屋敷あと遺跡や、汐留遺跡などを展示している。
- 東京文化財ウィークに合わせて、都の指定史跡、多摩ニュータウンNo.57遺跡の調査成果と出土品を公開し、解説会も2回実施した。

◆ 月替わり展示 月替わりで「今月の逸品」の紹介や、タイムリーな速報展示を実施



沖縄の焼物「壺屋焼」



失敗品の「八王子レンガ」



海軍訓練用模擬手榴弾



飛行機が描かれた磁器碗



土偶の模造品



多摩の養蚕を支えた「養蚕火鉢」



青山師範学校で使われた文具や陶磁器



多摩ニュータウン遺跡の飯碗

○ 月替わり展示は、収蔵品のなかから企画展示と連動した近代の遺物や、発掘現場からの速報展示を行った。

◆ 体験コーナー

「さわってみよう」「使ってみよう」をコンセプトに、縄文土器パズル、火おこし道具、縄文ファッションなどを体験していただきました。



○ 体験コーナーでは、縄文土器パズル、火おこし道具、縄文ファッションなど、実際にさわって使って、体験していただく展示を行っている。

◆ 遺跡庭園「縄文の村」

都史跡の多摩ニュータウンNo.57遺跡を、調査を終了した状態のまま盛り土して地中に保存し、縄文時代の集落と植物景観を復元した屋外展示施設・遺跡庭園「縄文の村」を適切に管理しました。

公開日数：357日 火焚き実演：206日実施



- 遺跡庭園「縄文の村」は、都の指定史跡多摩ニュータウンNo.57遺跡に盛り土をして保存した上に、縄文時代の景観を復元した屋外展示施設
357日公開し、復元住居で火焚きを206日実施した。
12月にはお客様のいたずらで復元住居の敷石を壊されてしまったが、発掘時の図面などを元に割れた敷石を接合するなどして学芸員が復元した。

◆ 講演会・体験教室等

文化財講演会(企画展示関連)などのチラシ デザインも全て学芸員が作成しました！

令和7年度 企画展示関連講演会(1)

トーキョーの発展と鉄道

考古学から近現代の扉をあけてみよう！

講師 斉藤 進
(元 東京都立歴史民俗学館 学芸員)

10月25日
13:30 - 15:30

【会場】 東京都立歴史民俗学館 企画展示センター
【定員】 30名 定員になり、先着順となります。抽選
【参加費】 無料

申込方法 10月9日 必着

【Web申込】

【任意はがき】

【お問い合わせ】

東京都立歴史民俗学館 企画展示センター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 (受付時間: 午前9時～午後5時)
Eメール: info@tokyomuseum.jp

2025年 11月29日
13:30 - 15:30

明治東京の 上水道と下水道

講師 金子 智
(元 東京都立歴史民俗学館 学芸員)

【会場】 東京都立歴史民俗学館 企画展示センター
【定員】 30名 定員になり、先着順となります。抽選
【参加費】 無料

申込方法 11月13日 必着

【Web申込】

【任意はがき】

【お問い合わせ】

東京都立歴史民俗学館 企画展示センター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 (受付時間: 午前9時～午後5時)
Eメール: info@tokyomuseum.jp

2025年 12月13日
13:30 - 15:30

ご飯茶碗クロニクル

講師 長佐古 真也
(東京都立歴史民俗学館 学芸員)

【会場】 東京都立歴史民俗学館 企画展示センター
【定員】 30名 定員になり、先着順となります。抽選
【参加費】 無料

申込方法 11月27日 必着

【Web申込】

【任意はがき】

【お問い合わせ】

東京都立歴史民俗学館 企画展示センター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 (受付時間: 午前9時～午後5時)
Eメール: info@tokyomuseum.jp

講演会や体験教室等のイベントなどについて

○ ご覧のチラシ類はもとより、展示のデザイン、パンフレット類などは、全て当センターの学芸員が作成している。

イベントなどの趣旨や面白さを熟知した学芸員がデザインすることで、外注では生み出せないものに仕上がっていると考えます。

◆ 講演会等

行 事 名	対 象	計 画		実 績		
		人数	回数	開催日	参加者	実施状況等
文化財講演会 (企画展示関連)	どなたでも	各回90名	3回	10月25日(土)午後	29名	講演『トーキョーの発展と鉄道 ～考古学から近現代の扉をあけてみよう！～』 講師: 齊藤 進 氏(元 東京都埋蔵文化財センター職員)
				11月29日(土)午後	30名	講演『明治東京の上水道と下水道』 講師: 金子 智 氏(東京都水道歴史館)
				12月13日(土)午後	29名	講演『ご飯茶碗クロニクル -器から見た近代-』 講師: 長佐古 真也(東京都埋蔵文化財センター職員)
企画展示解説会	どなたでも	各回 10名程度	6回	4月12日(土)午後	9名	計51名が参加 
				11月3日(月)午前	7名	
				12月10日(水)午前	2名	
				1月18日(日)午前	10名	
				2月7日(土)午前	11名	
				3月20日(金)午前	12名	
学芸員ギャラリートーク 大昔の多摩を語る	どなたでも	各回 10名程度	3回	9月20日(土)午後	8名	計31名が参加 
				10月18日(土)午後	14名	
				11月22日(土)午前	9名	

講演会等

○ 企画展示関連の講演会3回、企画展示解説会6回、常設展示を解説する学芸員ギャラリートークを3回開催した。

◆ 体験教室等！

■ お子さま考古学教室（リニューアル）



■ 縄文の土器作り（応募者380名超）



■ 親子で縄文の森あそび（リニューアル）



体験教室

- 「お子さま考古学教室」を、事前申込制から、自由参加のイベントに変更したことで、参加者が31名から111名に大幅増となった。
- 「縄文の土器作り」もSNSの閲覧回数が50万回をこえたこともあり、応募者が380名を超え大変好評であった。
- 「親子で縄文の森あそび」は、遺跡庭園の植物を使った植物図鑑づくり、竹の水鉄砲づくりなどを新たに加え、より魅力的なイベントにリニューアルし、親子ともに楽しんでいただいた。

◆ 体験教室等 2

行 事 名	対 象	計 画		実 績		
		人 数	回 数	開 催 日	参 加 者	実 施 状 況 等
トンボ玉作り	大人向け	各回6名	4回	5月31日(土)午前	6名	計20名が参加
				5月31日(土)午後	5名	
				10月9日(木)午前	4名	
				10月9日(木)午後	5名	
古代の糸作り	大人向け	各回12名	2回	6月21日(土)終日	15名	計31名が参加
				9月10日(水)終日	16名	
親子勾玉作り	親子等	各回12組(24名)	4回	7月24日(木)午前	26名	計117名が参加
				7月24日(木)午後	29名	
				8月24日(日)午前	34名	
				8月24日(日)午後	28名	
勾玉・耳飾り作り	大人向け	各回12名	2回	5月10日(土)午後	20名	計33名が参加
				10月3日(金)午後	13名	
叩いて糸作り	大人向け	8名	1回	11月28日(金)午前	11名	
親子火おこし 道具作り	親子等	12組(24名)	1回	8月9日(土)午前	19名	
親子縄文レリーフ作り	親子等	12組(24名)	1回	8月9日(土)午後	24名	
縄文の布作り	大人向け	各回12名	2回	5月10日(土)午前	10名	計24名が参加
	親子等	12組(24名)	1回	10月3日(金)午前	14名	
				8月18日(月)午後	25名	計25名が参加



親子縄文レリーフ作り



勾玉・耳飾り作り



親子火おこし道具作り

○ 「親子縄文レリーフ作り」、「勾玉・耳飾り作り」など体験型のイベントは、いずれも応募者が多かったため、火を用いるため安全を確保できる人数に制限しているトンボ玉作りを除いて、実習室で受け入れられる上限いっぱいの人数まで当選とするなど柔軟に対応した。

◆ 体験教室等 3

行 事 名	対 象	計 画		実 績		
		人数	回数	開催日	参加者	実施状況等
縄文土器作り	大人向け	12名	1回 (2日間)	8月30日(土)終日	13名	計27名が参加
	親子等	12組(24名)	1回	8月31日(日)終日	14名	
縄文土器の野焼き	どなたでも	見学自由	2回	7月23日(水)終日	30名	計108名が参加
				8月16日(土)終日	75名	
親子で縄文の森あそび	低年齢向け	12組(24名)	1回	9月20日(土)終日	33名	
				7月29日(火)午後	18名	
お子さま考古学教室	低年齢向け	各回 12組(24名)	2回	8月21日(木)午前	18名	計111名が参加
				8月21日(木)午後	45名	
				8月22日(金)午前	24名	
				8月22日(金)午後	24名	
お子さま勾玉作り	低年齢向け	各回 12組(24名)	2回	7月31日(木)午前	31名	
				7月31日(木)午後	30名	



親子縄文土器作り



縄文土器の野焼き



お子さま考古学教室



お子さま勾玉作り

○ そのほか「親子縄文土器作り」や「お子さま勾玉作り」など多くのイベントを実施した。

◆ その他の事業（自主事業）

■ 親子で縄文土器と友達になろう（リニューアル）



■ 遺跡庭園ガイドツアー（新規事業）



自主事業として行った体験教室など

○ 「親子で縄文土器と友達になろう」は、子供達に自分で選んだ土器片を良く観察してもらい、見本の土器3つのなかから同じ種類の土器を探し出すチャレンジから始める工夫をしたことで、「昨年度までの土器を見てスケッチする縄文土器観察会」から、子どもたちが「自分が選んだ土器」を熱心にスケッチするイベントに進化させることができた。また、完成したスケッチをオリジナルファイルにして、特製缶バッジとともにその場でプレゼントした。

○ 「遺跡庭園ガイドツアー」は文化財ウィークの特別展示に合わせた新規イベントで、多摩ニュータウンNo.57遺跡を発掘した当時の様子や、遺跡庭園「縄文の村」として史跡整備されるまでなどを解説した。

◆ その他の事業（自主事業）Ⅰ 講演会・イベント等

行 事 名	対 象	計 画		実 績		
		人数	回数	開催日	参加者	実施状況等
文化財講演会 （考古学全般）	どなたでも	各回90名	3回	5月14日(水)午後	39名	講演『発掘成果からみるトーキョーの街 ～令和7年度企画展示特別解説～』 武内 啓(東京都埋蔵文化財センター調査研究員)
				1月18日(日)午後	47名	講演『世田谷区大蔵遺跡の調査成果』 橋本 望(東京都埋蔵文化財センター調査研究員)
				2月7日(土)午後	43名	講演『古代・多摩丘陵の竪穴建物』 宮下 孝優(東京都埋蔵文化財センター調査研究員)
特別展示解説会	どなたでも	各回 10名程度	2回	10月31日(金)午前	3名	東京文化財ウィーク2025に合わせた特別展示〔遺跡庭園 「縄文の村」ってどんなところ？ ～東京都指定史跡 多摩 ニュータウンNo.57遺跡～〕について、学芸員が解説
				11月3日(月)午前	4名	
遺跡発掘調査発表会	どなたでも	90名	1回	3月20日(金)午後	81名	練馬区大泉中里遺跡等4遺跡を発表し、新宿区尾張徳川家下 屋敷遺跡等2遺跡を誌上発表
『「縄文の村」って何!?』 遺跡庭園ガイドツアー	どなたでも	詳細未定	1回	11月22日(土)午後	7名	遺跡庭園「縄文の村」(東京都指定史跡多摩ニュータウン No.57遺跡)について、発掘調査時に発見された遺構や遺 物と史跡整備の考え方などをツアー形式で解説



文化財講演会（考古学全般）



特別展示解説会



遺跡発掘調査発表会

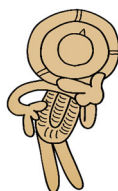
- 調査研究員が自分の研究成果を発表する「文化財講演会」は、「近代考古の入口として、話も資料もわかりやすかった。」などの意見をいただいた。
- 「遺跡発掘調査発表会」は、若手調査研究員が中心となって、自分が担当する遺跡の調査成果を発表した。

◆ その他の事業（自主事業） 2 体験教室等

行 事 名	対 象	計 画		開催日	参加者	実 績
		人数	回数			実施状況等
考古学講座	大人向け	12名	1回	11月8日(土)終日	11名	『遺跡から出土した貝を調べよう』
「縄文の村」自然観察会	大人向け	各回10名	2回	4月12日(土)午前	9名	
				10月18日(土)午前	10名	
映像上映会	どなたでも	各回90名	2回	7月5日(土)午後	33名	作品『都営交通100年の軌跡』
				1月31日(土)午後	26名	作品『カメラを持った男たち -関東大震災を撮る-』
親子で縄文土器と友達になろう！	親子等	10組(20名)	1回	8月26日(火)午後	12名	
縄文たき火まつり	どなたでも	100名	1回	12月6日(土)終日	158名	これまで「遺跡庭園解説会」という名称だったが、利用者の目に留まるようなイベント名に変更して実施
考古学相談室	どなたでも	通年(土日は除く)	----	----	37名	
火おこしマイスター	どなたでも	100名程度	夏季	----	—	会場予定地にWBGT計を設置して予備的計測を続けたところ、熱中症警戒指数が連日厳重警戒を示し実施困難になったため、次年度実施に向けて、時期や方法を再検討することにした。
夏休み自由研究相談室	小・中学生	夏休み期間	----	----	3名	



縄文土器と友達になろう！



考古学講座



縄文たき火まつり

○ 学芸員の専門分野を生かした「考古学講座」、冬の庭園で火起こし体験などができる「縄文たき火まつり」などのイベントを実施したが、「火起こしマイスター」は、熱中症警戒アラートが出続けたため開催を見送り、開催時期や運営方法を見直したうえで令和8年11月に「火起こし体験会」として実施することにした。

◆ その他の事業（自主事業） 3 外部連携事業

行 事 名	対 象	計 画		開催日	参加者	実 績 連携団体・内容等
		人数	回数			
首都圏財団間事業公開セミナー	一 般	200名程度	年1回	2月7日（土）	346名	担当：（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 会場：埼玉会館小ホール（浦和） 内容：弥生時代が終わるころ ～ムラのカタチとヒト・モノの流れ～
区市町村等連携事業	一	各20名程度	年10回		130名	
京王キッズプラッツウォークラリー	保育園児と保護者	—	—	5月28日（水）	33名	京王キッズプラッツ多摩センター （近接する企業主導型保育所）
資料見学会	一般	—	—	7月27日（日）	41名	東洋陶磁器会研究会
視聴覚障害者とともに学ぶ教養講座	視覚障害者	—	—	11月23日（日）	23名	東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課
考古学体験	一般	—	—	12月1日（月）	16名	日野市役所ふるさと文化財課
多摩市共催文化財ウォーク	一般	—	—	2月28日（土）	17名	多摩市教育委員会と連携
大学連携 （大学と連携して授業や見学、博物館 実習等を実施）	都内大学等	—	—	年間	13校 計267名	中央大学、学習院女子大学、帝京大学、昭和女子大学、桜美林大学、学習院大学、東京造形大学、国士館大学、放送大学、大正大学、女子美術大学、東京都立大学、恵泉女学園大学

多摩市共催文化財ウォーク



資料見学会（東洋陶磁器会研究会）



視聴覚障害者とともに学ぶ教養講座



外部連携事業

○ 多摩市と連携して市内の主要な文化財や遺跡について学びながらウォーキングを楽しむ「文化財ウォーク」や、教育庁地域教育支援部生涯学習課の事業に協力した「視聴覚障害者とともに学ぶ教養講座」などを実施した。教養講座では、学芸員が作った古墳の模型に触っていただき、古墳の名前と形を直感的に理解できる工夫をした。

◆ その他の事業（自主事業） 4 出前授業・職場体験・研修受入れ

■ 出前授業

No.	実施日	学校名	参加者数
1	7月8日(水)	多摩市立貝取小学校	42名
2	9月26日(金)	大田区立入新井第一小学校 ※複数のクラスが同時に参加できるオンラインでの特別講義を企画し、実施	165名
3	10月23日(木) 10月24日(金)	稲城市立若葉台小学校	119名
4	11月11日(火)	武蔵村山市立第十小学校	80名



■ 職場体験

No.	実施期間	学校名	参加者数
1	7月11日(金)	八王子市立別所中学校	3名
2	9月17日(水)～9月19日(金)	多摩市立多摩中学校	3名
3	9月17日(水)～9月19日(金)	町田市立堺中学校	3名
4	9月29日(月)～10月1日(水)	多摩市立鶴牧中学校	3名
5	10月16日(木)～10月17日(金)	日野市立日野第一中学校	3名
6	10月28日(火)～10月30日(木)	多摩市立和田中学校	3名
7	11月5日(水)～11月7日(金)	多摩市立諏訪中学校	3名
8	11月5日(水)～11月7日(金)	都立三鷹中等教育学校	3名
9	11月19日(水)～11月21日(金)	多摩市立永山中学校	1名
10	11月20日(木)～11月21日(金)	町田市立小山中学校	3名



■ 教職員研修受入れ

No.	実施日	研修名	参加者数
1	8月6日(水)	令和7年度中堅教諭等資質向上研修	14名
2	8月7日(木)	令和7年度中堅教諭等資質向上研修	11名

出前授業・職場体験・研修受け入れ

○ 学校に出向く出前授業のほか、複数のクラスが同時に参加できるオンラインの特別講義を行うなど、学校のご要望に合わせて柔軟に対応し、より効果的な授業にした。また、職場体験や教職員研修も受け入れた。

◆ 施設の維持管理・利用者サービスの向上

■ 修繕工事等

No.	件 名
1	屋上膨張タンクのボールタップ取替修繕
2	消防用補給水槽のボールタップ取替修繕
3	屋上エアベントバルブの取替修繕
4	男子トイレフラッシュバルブの取替修繕
5	床コンセントのリレー取替修繕
6	防火シャッターの中継器バッテリー更新
7	屋上私設メーターの更新
8	消火栓ホースの交換
9	樹木剪定及び伐採(全3回)



■ 利用者サービスの向上

事業名	内 容
新たな物品調達等	オリジナルクリアファイルの作成
	オリジナルアクリルキーホルダーの作成
	特別展示仕様のオリジナルブックカバーの作成
実施した取り組み	落とし穴展示のフロアサインシートの更新
	屋外展示: 井戸枠の展示台更新
	館内フロアマップの更新
	経口補水液の常備
	遺跡庭園内の植物銘板追加設置
	遺跡庭園内のベンチ座面更新
	遺跡庭園内の通路整備
	害虫(やぶ蚊等)駆除剤の自主散布



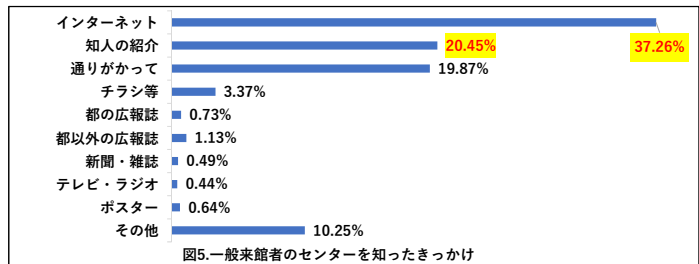
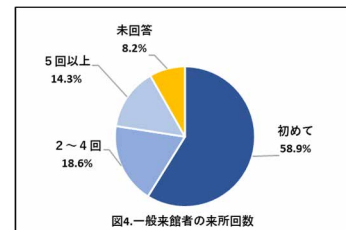
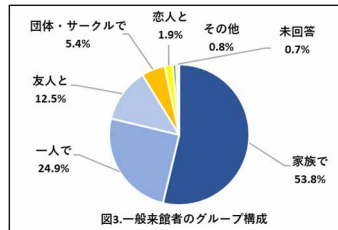
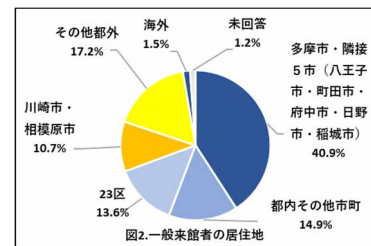
施設の維持管理・利用者サービスの向上

- 施設の維持管理として、空調機器等の修繕を迅速に実施したほか、利用者の安全を守るための樹木剪定などを実施した。
- 利用者サービス向上として、落とし穴のフロアサインや庭園のベンチ座面などの更新、植物銘板を追加して利用者の目につきやすい箇所に掲示するなどに取り組んだ。

◆ 利用者アンケートの集計結果

■ 一般来館者アンケート（集計期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

回答者数：3,443人 回答率：19.2%（3,443人/17,862人）



一般来館者のアンケートから

アンケートは、学校見学等を除く来館者約18,000人のうち3,443人から回答があり、回答率は約19%であった。

○ 年齢層や居住地、グループ構成は、昨年度とほぼ同様であった。

○ 来所回数は、この小さな施設のリピーターが3割以上であることは、様々な工夫の結果と考えている。

○ 埋文センターを知ったきっかけは、「インターネット」の37%余りがトップだが、「知人の紹介」が20%を超えていることは、高い満足度の現れと考えている。

■ 利用者満足度

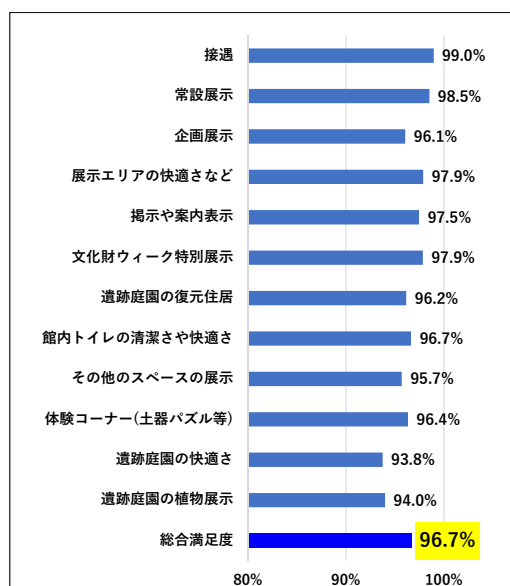
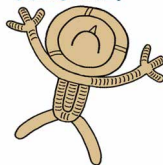


図6.一般利用者の満足度

■ 利用者の声を反映した取組

～ご希望等にお応えしました～

- ・ナンデくんのグッズが欲しい！
 - ・クリアファイルがもらえるのが嬉しい！
- ⇒ デザインにナンデくんを多く活用し、アンケートのノベルティを定期的に変更するなど何度来ても楽しめるよう工夫しました。



- ・もっと草花の名札が欲しい。
- ⇒ 遺跡庭園内の植物銘板をより見やすい箇所に追加で掲示しました。

- ・逆に回ってしまった。
 - ・矢印を付けていただくとわかり易いと思いました。
- ⇒ 企画展示のプロローグ上部に矢印案内を取付けることで、順路をわかりやすくしました。



○ 利用者満足度は、各項目とも90%以上の方が「満足」という回答であった。総合満足度も96.7%と、昨年度の96.4%を上回ることができた。

○ 利用者の声を反映した取り組みとして、人気上昇中のナンデくんのグッズ化を求める声が多かったことから、アンケートのノベルティのデザインなどにナンデくんを活用するなど、何度来ても楽しめる工夫をした。

また、庭園内の植物銘板をより見やすい場所に追加したほか、展示の順路をわかりやすく示す案内を追加するなどの対応をした。

◆ 令和7年度 収支状況（決算）

令和7年度は、約11万円の赤字となり、不足分は自主財源で対応しました。

1 収入

令和8年3月31日

項 目	予算額 (a)	決算額 (b)	差 引 (b-a)	内 容
指 定 管 理 料	122,089,000	122,089,000	0	
光 熱 水 費 等	70,000	35,555	▲ 34,445	飲料自販機用電気代
自 販 機 収 入	14,000	31,385	17,385	飲料自販機販売実績
収 入 計	122,173,000	122,155,940	▲ 17,060	

2 支出

項 目		予算額 (a)	決算額 (b)	差 引 (a-b)	内 容
管 理 事 業 費	職員費	29,559,000	31,320,096	▲ 1,761,096	常勤4名
	報償費	78,000	134,775	▲ 56,775	講演会講師謝金
	旅費	100,000	267,965	▲ 167,965	管内旅費、出張旅費等
	光熱水費		0		
	一般需用費	2,845,000	2,365,917	479,083	広報消耗品費、庭園修繕費、印刷費、図書費等
	役務費	157,000	406,335	▲ 249,335	通信運搬費、保険料、手数料
	委託料	12,839,000	14,128,113	▲ 1,289,113	庭園維持管理委託費、庭園整備のための委託費、技術の伝承のためのOB活用に係る準委任費
	工事請負費		0		
	備品購入費	234,000	0	234,000	
	租税公課	2,922,000	3,151,317	▲ 229,317	収入印紙、支払消費税等
	一般管理費	3,000,000	3,000,000	0	公益財団法人東京都教育支援機構運営諸経費
	管理運営費計	51,734,000	54,774,518	▲ 3,040,518	
	光熱水費	18,187,000	17,417,102	769,898	光熱水費
	一般需用費	2,455,000	657,299	1,797,701	建物管理用消耗品費、建物関連修繕費
	役務費	296,000	23,131	272,869	手数料
施設管理費	委託料	47,860,000	49,119,784	▲ 1,259,784	建物管理委託費、庭園清掃・樹木保護費
	工事請負費	1,641,000	275,000	1,366,000	工事請負費
	施設管理費計	70,439,000	67,492,316	2,946,684	
	総事業経費支出合計	122,173,000	122,266,834	▲ 93,834	

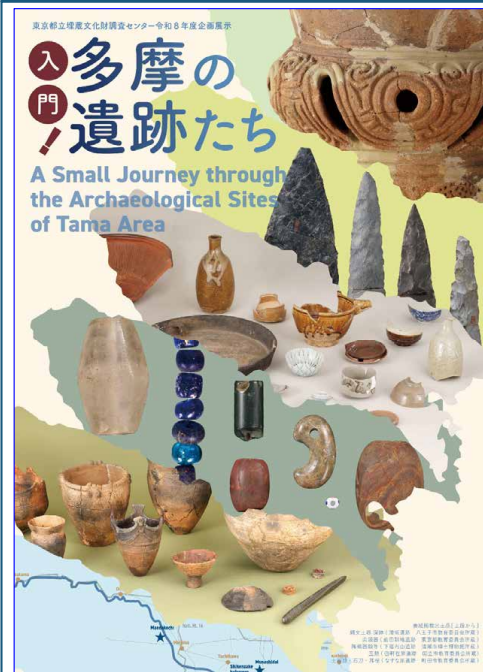
3 収支

項 目	収入 (a)	支出 (b)	差 引 (a-b)	執行率 (b÷a)
差 引 実 績 額	122,155,940	122,266,834	▲ 110,894	100.09%

令和7年度の収支状況

- 収入は1億2千2百15万円余で、指定管理料がその大半である。
- 支出は1億2千2百26万円余で、学芸員3人と事務員1人の職員費、庭園維持管理、建物管理などの委託料ほかである。
- 修繕費や工事費の減により一般需用費や工事請負費が減となったが、職員費のほか建物管理、庭園管理などの委託料等が増となり、約11万円の赤字であった。

令和8年度企画展示「入門！多摩の遺跡たち」



令和7年度東京都立埋蔵文化財調査センター指定管理に係る事業報告は以上です。
画面は、ただいま展示中の令和8年度企画展示「入門！多摩の遺跡たち」の解説
冊子の一部です。新しい展示もぜひご覧ください。